

日 本 私 法 学 会 会 報

□ 日本私法学会第88回大会を下記のとおり開催いたします。会員の皆様におかれましては、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

I 期 日 2025年10月11日（土）、12日（日）

II 場 所 明治学院大学白金キャンパス
(〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37)

○ 本年度大会への参加方法

本年度大会は、現地参加のほか、通常ワークショップおよび総会を除いてオンライン視聴をすることができます。オンライン視聴をされる方からの質問等は、予定しておりません。

○ 事前参加登録

本年度大会に参加するためには、現地参加をされるか、オンライン視聴をされるかにかかわらず、事前参加登録をしていただく必要がございます。登録期限は、**2025年10月7日（火）正午**となります。

事前参加登録は、日本私法学会ウェブサイト（<https://japl.jp/>）の「活動・大会」の「日本私法学会第88回（2025年度）大会のお知らせ」のページに掲載されている事前参加登録ページ（会員用）へのリンクから、することができます。会員番号は、本文書が入った封筒の宛名ラベルに記載されております。会員PWは、すべての会員に予め発行され、オンラインで会員登録情報の変更等をされるときに用いられているPWのことです。会員番号や会員PWがわからない方は、学会支援機構までメール（japl@asas-mail.jp）でご照会ください（平日のみ対応可。会員PWは、事前参加登録ページ（会員用）のトップ画面下部からも照会可）。

事前参加登録のフォームで入力した情報（氏名・所属・メールアドレス・参加方法・参加プログラム等）は、大会運営に使用する目的で、開催校に提供されますことをご了承ください。

○ 大会特設ページ

事前参加登録をされた方には、自動配信メールにて、大会特設ページのパスワード（会員PWとは異なります）が送付されます。自動配信メールは、事前参加登録のフォームに入力したメールアドレスに送信されますので、入力ミスにご注意ください。

大会特設ページは、自動配信メールのほか、日本私法学会ウェブサイト（<https://japl.jp/>）のページの右上のリンクからも、アクセスすることができます。

大会特設ページには、シンポジウム予稿、報告資料（レジュメ）、オンライン視聴用のURLなど、本年度大会に関する資料・情報が掲載されます。本年度大会では、報告資料（レジュメ）は、現地での配布をいたしませんので、各自、大会特設ページからダウンロード・印刷する等して、ご用意ください。また、本年度大会より、シンポジウム予稿抜刷も郵送しておりませんので、大会特設ページに掲載されている電子ファイルをご利用ください。

Ⅲ 学会次第

1 個別報告 (10月11日 10時～17時)

(1) 第1部会

- | | | |
|---|----------|---------|
| ア 「物権としての地役権の特性——19世紀フランス物権法理論とその継受の視点から——」 | 東洋大学専任講師 | 柴 田 彬 史 |
| イ 「譲渡担保における「物権の分属」の意義」 | 千葉大学准教授 | 鶴ヶ野 翔 麻 |
| ウ 「法的処分論の再構成序説」 | 新潟大学准教授 | 林 晃 起 |

(2) 第2部会

- | | | |
|---|----------|---------|
| ア 「錯誤とリスク負担」 | 武蔵野大学教授 | 古 谷 英 恵 |
| イ 「差別禁止・平等処遇の理念と民法の関わり」 | 白鷗大学准教授 | 茂 木 明 奈 |
| ウ 「複数の契約の法的影響関係に関する基礎的考察——契約の相互依存関係をめぐるフランス法との比較法的検討を通して——」 | 岡山大学専任講師 | 渡 邊 貴 |

(3) 第3部会

- | | | |
|---------------------------------------|-------------|---------|
| ア 「私人を当事者とする名誉侵害の不法行為の成否の判断枠組に関する一考察」 | 創価大学准教授・弁護士 | 土 平 英 俊 |
| イ 「会計不正と会社法——計算書類承認決議の有効性を中心に——」 | 国士舘大学准教授 | 大 島 一 輝 |

2 ワークショップ (10月11日 昼食後～)

A 「違憲判決をうけて民法はどう変わるか——同性カップルをめぐる立法論・解釈論の可能性——」

司会者	青山学院大学教授	大 島 梨 沙
報告者	明治大学教授	渡 邊 泰 彦

B 「サステナビリティにかかる企業の取り組みと取締役の責任」

司会者	慶應義塾大学教授	久保田 安 彦
報告者	東京大学教授	松 井 智 予
コメンテーター	立命館大学教授	山 田 泰 弘

* ワークショップは、特定のテーマに関心を持つ少人数の参加者が自由に討論する形で進行する研究会です。ワークショップの参加者は15名程度に限定し、参加者全員が議論に参加することが要求されております（オンライン配信も行いません）。参加者の決定は、会場への先着順とさせていただきます（本年度大会への事前参加登録フォームにワークショップの欄がありますが、これは参加者の数を推計するためのものであり、参加資格とは関係ありませんので、ご了承ください）。上記のテーマにご関心のある方々は、予め参考文献に目を通したうえ、ふるってご参加ください。なお、ワークショップは、昼休みの時間帯を利用して行われます。参加者はワークショップ会場で昼食をとっていただき、昼食終了後、直ちに報告・討論に入ることになります。

3 拡大ワークショップ(10月11日 A 13時20分～15時50分／B 14時20分～16時50分)

A 「成年後見法理論の現状と展望」

司会者・報告者	早稲田大学教授	山城 一 真
報告者	一橋大学教授	石 綿 はる美
報告者	早稲田大学教授	橋 本 有 生
コメンテーター	新潟大学教授	上 山 泰
コメンテーター	京都大学教授	木 村 敦 子

B 「実質株主確認制度の目指すものと在るべき制度設計」

司会者・報告者	早稲田大学教授	中 村 信 男
報告者	立命館大学教授	清 水 円 香
報告者	東北学院大学准教授	内 藤 裕 貴

* 拡大ワークショップは、特定のテーマに関し、主として中堅の研究者により問題提起となる報告をしていただき、それに基づき、フロアの会員との活発な議論を行うものです。従来のワークショップでは、全員が議論に参加することを前提として参加者を少人数に限定して行われるのに対し、拡大ワークショップは、報告者とフロアから主体的に議論に加わる者との間の意見のやりとりを通じて、その場に臨んだ会員の間で広く問題認識や議論の深化を図ることを目的とするものです。そのため、より多くの会員が参加することができるよう、個別報告の会場を利用して行われます。拡大ワークショップは予定された時間内に必ず終了することが前提とされています。

4 日本私法学会シンポジウム (10月12日 9時30分～17時)

(1) 「仮想空間における人と物：デジタル資産とアバターの法」

司 会	東京大学名誉教授	神 田 秀 樹
	北海道大学教授	曾 野 裕 夫
報 告		
総 論	学習院大学教授	小 塚 莊一郎
1 アバターと人の法	上智大学教授	白 石 友 行
2 仮想空間における法人格	学習院大学教授	小 塚 莊一郎
3 デジタル技術の進展と民事法の応答——金融分野における議論を素材として	東京大学教授	加 毛 明
4 資産のトークン化の意義と課題	東京大学教授	加 藤 貴 仁
5 国際機関による私法ルール形成と仮想空間への応用可能性	中央大学教授	原 恵 美
コメンテーター	東京大学名誉教授	能 見 善 久
	KDDI株式会社	川 本 大 功

* 各報告については、大会特設ページ掲載の資料（NBL1296号抜刷）をご参照ください。

(2) 「民法（債権関係）改正後の民法学」

司 会

東京大学教授 森 田 宏 樹

早稲田大学教授 三 枝 健 治

報 告

1 総論——「民法（債権関係）改正後の民法学」の企画趣旨と問題提起

慶應義塾大学教授 丸 山 絵美子

2 意思表示の瑕疵の体系——意思の欠缺と瑕疵ある意思表示との区別について

東京大学教授 水 津 太 郎

3 売買における目的物の特定と代物請求

神戸大学教授 田 中 洋

4 相殺の対抗の解釈論とその方法論

慶應義塾大学准教授 岩 川 隆 嗣

5 役務提供型契約における損害賠償を伴う任意解除規定の解釈

慶應義塾大学教授 丸 山 絵美子

6 連帯債務と債務発生原因

京都大学教授 西 内 康 人

7 定型約款規定の意義と解釈

名古屋大学教授 松 田 貴 文

8 補論：民法解釈学に関するノート

京都大学教授 西 内 康 人

コメンテーター

早稲田大学教授 山 本 敬 三

一橋大学教授 得 津 晶

* 各報告については、大会特設ページ掲載の資料（NBL1298号抜刷）をご参照ください。

5 総会（10月12日 12時20分～12時40分）

本年度大会の総会は、現地参加のみをすることができます。オンライン視聴をすることはできませんので、ご注意ください。

IV 注意事項

- (1) 本年度大会に参加（現地参加またはオンライン視聴）するにあたっては、Ⅱの後の枠で囲われた記載をご参照いただき、事前参加登録をしていただいたうえで、必要な資料等は、各自、日本私法学会ウェブサイト（<https://japl.jp/>）からダウンロード・印刷する等して、ご用意ください。本年度大会から、個別報告要旨等を記載した大会資料は郵送いたしません。個別報告要旨・ワークショップ資料・拡大ワークショップ資料は、日本私法学会ウェブサイトの「活動・大会」の「日本私法学会第88回（2025年度）大会のお知らせ」のページから、シンポジウム予稿は、本年度大会の「大会特設ページ」から、電子ファイルをダウンロードしてご利用ください。なお、eduroamアカウントをお持ちの方は会場でeduroamを利用いただけますが、電源のご用意はございません。
- (2) 本年度大会では、現地参加をされる方には、受付で名札入力を配布いたします。氏名等は記載しておりませんので、各自で名刺を入れていただくか、名札を手書きしてご利用ください。
- (3) 本年度大会に現地参加される方には、参加証明書を発行することができます。必要な方は、受付でお申し出ください。

- (4) 本年度大会では、現地でのお弁当の提供はいたしません。持参された昼食をおとりいただくことができるスペースをご用意いたします。1日目の昼は、大学の食堂を利用することもできます。
- (5) 開催校側の機器のトラブル等により、オンライン視聴をされる方がオンラインで視聴することが著しく困難または不可能になったときは、後日、大会の録画または録音の提供について、日本私法学会ウェブサイト等にて、ご案内いたします。
- 不測の事態が発生したことにより、開催方式の変更等をする必要が生じたときは、日本私法学会ウェブサイト等にて、ご案内いたします。

□ 日本私法学会事務局からのお知らせ

* 日本私法学会大会における個別報告の申請について

日本私法学会大会における個別報告については、2000年度大会から個別報告審査制度が導入され、個別報告審査委員会による審査を経たうえで、理事会において個別報告を行う者を決定することとなっております。日本私法学会大会において個別報告を希望される会員は、「日本私法学会個別報告審査規則」および「日本私法学会大会における個別報告に関する規程」（2000年12月2日理事会決定）をよくお読みになり（日本私法学会ウェブサイト〔<https://japl.jp/>〕をご覧ください）、個別報告の資格要件等について確認されたうえで、個別報告の申請をされるようお願いいたします。特に、2026年度大会から、申請締切が大会前年の10月末日（2026年度大会における個別報告の申請の場合、2025年10月末日）となり、申請方法も電子申請となりますので、ご注意ください。なお、この点に関してご不明な点がございましたら、日本私法学会事務局まで、メールにてお問い合わせください。

日本私法学会事務局 幹事 阿部裕介・水津太郎

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学法学部研究室内

TEL 03 (5841) 3131 (法学部研究室受付)

FAX 03 (5841) 3174

E-Mail office@japl.jp

時 間 割

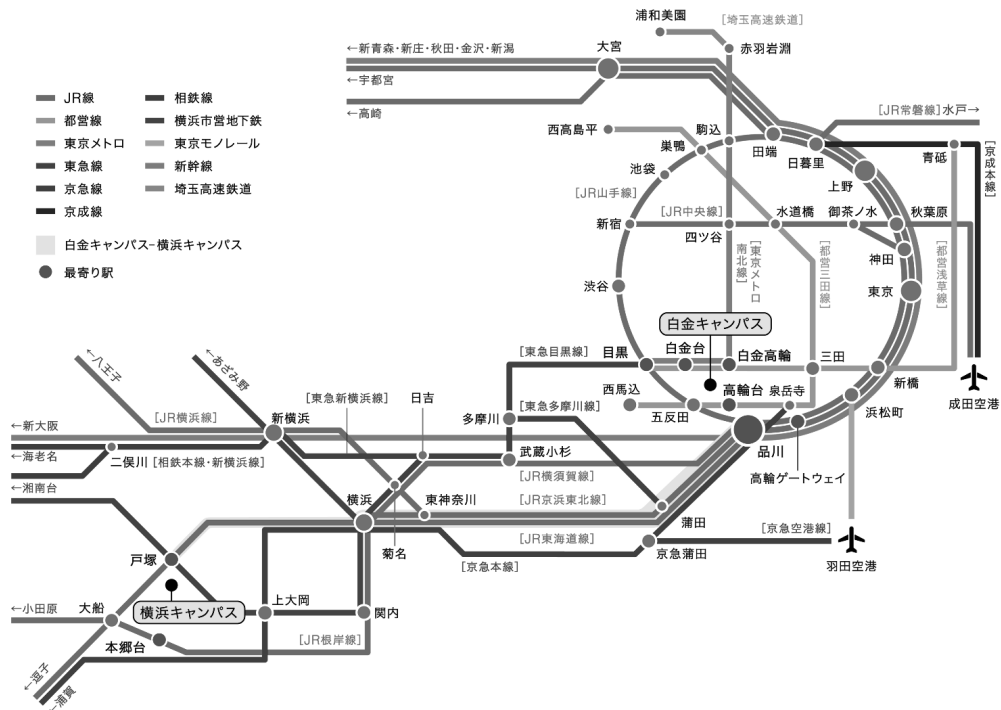
10月11日 (土)	部会	第1	第2	第3		
	10：00	柴田	古谷	土平		
	11：00					
	11：10	鶴ヶ野	茂木	大島		
	12：10					
						ワークショップ A・B
	13：20	拡大 ワークショップ A	昼休み			
	14：10					
	14：20		拡大 ワークショップ B			
	15：50					
16：00	林	渡邊				
16：50						
17：00						

10月12日 (日)	9：30	シンポジウム(1)		シンポジウム(2)	
	12：00				
	12：10				
	12：20	総会			
	12：40				
		昼休み			
	14：00	シンポジウム(1)		シンポジウム(2)	
	17：00				

明治学院大学白金キャンパス案内図



明治学院大学白金キャンパスへのアクセス



- ・JR・京急品川駅から ※徒歩約 17 分
高輪口より都営バス「目黒駅前」行きに乗り、「明治学院前」下車(乗車約 6 分)
※同じバス停からの港区コミュニティバス「ちいパス」は「高輪警察署前」下車(「明治学院前」は通りません)。
- ・JR・地下鉄目黒駅から ※徒歩約 20 分
東口より都営バス「大井競馬場前」行きに乗り、「明治学院前」下車(乗車約 6 分)
- ・JR 高輪ゲートウェイ駅から
出口より徒歩約 13 分
- ・地下鉄白金台駅から
2 番出口(白金高輪側 / エレベーター有)より徒歩約 7 分
- ・地下鉄白金高輪駅から
1 番出口(目黒側 / エレベーター有)より徒歩約 7 分
- ・地下鉄高輪台駅から
A2 出口より徒歩約 7 分